

令和元年7月27日(土)に、北条農村環境改善センターで小学校から高校までのP T Aを対象とした中部地区人権教育懇談会を開催しました。その内容を紹介します。



## 施策説明「豊かな人権文化を築く学校づくり事業」について

鳥取県教育委員会事務局人権教育課 社会教育担当係長 寺谷孝志 氏

本事業は平成30年度から2年間の予定で実施する。学校・家庭・地域が連携・協働して、豊かな人権文化を築く資質を備えた児童生徒を育成する学校の研究・取組を支援していく。

### ■学校の研究や取組への支援

- 県内小・中学校3校程度を指定し、「人権教育プログラム集(学校教育編・社会教育編)」を活用した児童生徒への学習と保護者等への研修を実施する。
- 児童生徒心理検査、先進校視察等、人権教育推進に係る学校独自の取組を支援する。

### ■家庭・地域への支援

- 「人権教育プログラム(社会教育編)」を活用した保護者等への研修を希望する学校に対しファシリテーターを派遣する。(約40校)
- ファシリテーターの資質・能力の向上を図る研修会を開催する。



## 人権教育プログラム体験

### 「子どもが電子メディア機器(携帯電話、スマートフォン等)と上手に関わるために」

ファシリテーター 人権教育プログラム作成委員

#### 1 アイスブレイク

- ・小さい頃、なりたかった職業を紹介しながら、自己紹介し、心をほぐす。

#### 2 子どもが電子メディア機器に関わる時のメリットやデメリットを考える。

- ・分からないことがあればすぐに調べることができ、生活に便利なアプリが多くある。
- ・全く知らない相手とつながりやすい。他人を中傷することが簡単にできてしまう。

#### 3 グループ内で出されたデメリットからみんなで考えたいことを決め、他のグループに意見をもらったり、対応策を考えてもらったりする。

- ・子どもと過ごす時間を小さな頃から意識してつくり、ネットやゲームにのめり込まない環境をつくる。
- ・自分を大事にできる子は他の人も大事にできる。家庭で親子の関わりを考えていく。



#### 4 他のグループのワークシートを見て回り、「なるほど!」と思う意見にシールを貼る。

#### 5 まとめ (ファシリテーター)

- ・親子でメディアの使い方についてじっくり話し合う機会をもつ。
- ・ネット上の問題をなくすためには何よりも私たち保護者が日頃から人権意識を高めるための学びを深める必要がある。

参加者からたくさんの  
意見が出ましたよ。



### 【参加者の感想より】

- 知らない人とグループになったが、コミュニケーションをとり、自分の意見を出したり、他の方の意見を聞いたりして楽しく体験することができました。
- SNSは便利ではあるが、スマートフォンを子どもに持たせるにあたって不安要素しかありませんでした。メディアを使うにあたり、人権を守ることにについて、わが子と話し合いが必要であることに気づきました。
- 結局は親が変わらなければ、子どもも変わらないと思います。子どもの手本となるように親も勉強してその姿を見せていきたいと思いました。



### 【お知らせ】

これまでに作成された人権教育プログラムは、県HPにアップしています。御活用ください。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1100785/H27brushupver.pdf> (平成27年度版)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1100785/H28brushupver.pdf> (平成28年度版)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1100785/H29brushupver1.pdf> (平成29年度版)

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1100785/H29brushupver2.pdf>